

いずみさの教育

NOW

問合先
学校教育課

「食は生きる力！子どもたちの未来を育む食育」

食育は、単に「食べる」ことだけでなく、食に関する知識や技能を習得し、食を選択する力を育むことです。食を通して心身ともに健やかに成長し、豊かな食生活を送ることを目指します。

現状として、子どもたちは、食の大切さや、何をどのように食べたら良いのかを十分に理解していないことがあります。外食や加工食品の増加、朝食を抜くなど、不規則な食生活を送っている子どもも増えていきます。

また、食料の生産や廃棄の問題など、地球規模の食料問題への関心が低い傾向にあります。

そこで、学校では様々な取組を通して、子どもたちに食の大切さを伝えていきます。食の歴史、栄養バランス、旬の食材、食文化など、食に関する幅広い知識を学ぶ授業を行います。調理実習などで自分で料理を作る体験を通して、食への興味や関心を高め、調理の基礎を学びます。

給食では、栄養バランスの取れた食事を提供し、食に関する指導を行います。また、食に関するイベントやコンクールなども開催しています。



学校園紹介

体力アップで毎日をもっと楽しく！ ～佐野台小学校～

佐野台小学校は、体力向上推進校として、子どもたちは週3回のアップタイムで日常的に運動に親しみ、楽しみながら体力づくりに取り組んでいます。



11月には日本サッカー協会のJFAこころのプロジェクト「夢の教室」が開催され、夢先生として元なでしこジャパンの大竹七未さんに来ていただきました。1時間目は体を動かしながら、クラスで協力して課題をクリアするというゲームを行いました。成功するために作戦会議をし、仲間と協力することの大切さや失敗しても何度もチャレンジする姿勢を学びました。2時間目は、夢先生の特別授業でした。夢を叶えるためには「目標を持つこと」「目標に向かって努力すること」「あきらめないで続けること」「自分を支えてくれる周りの人に感謝の気持ちを持つこと」が大切だと教えてもらいました。

12月には泉佐野市とセレッソ大阪の協働プロジェクト「泉佐野市サッカーファミリープロジェクト」で、セレッソ大阪のアンバサダーである酒本憲幸さんに来ていただきました。1時間目はボールを使って様々な運動を行い、2時間目はチームに分かれてゲームをしました。トップアスリートの実際のプレーを見て、驚きや憧れの気持ちを抱くと同時に、自分の目標や将来の夢が膨らんだのではないのでしょうか。とても貴重な体験ができました。



生徒主体の教育活動を目指して ～佐野中学校～

佐野中学校は、「自ら考え、判断し、主体的に行動する生徒」を目指す生徒像とし、日々の教育活動に取り組んでいます。今年度は、前期生徒会執行部が考えていた取組を後期生徒会執行部が引継ぎ、生徒主体の新たな取組を行うことができました。



生徒会執行部と各種委員長が集まっての「リーダーズ会議」を開催し、初めての取組である「全校レク大会」を開催しました。「リーダーズ会議」で開催日時・種目・ルールなどを全て企画し、教員とも話し合いながら準備を進めました。11月の開催に向け、会議に出席している全生徒が「どのように進めていけば、全校生徒が参加できるか」をしっかりと考えていました。競技内容は、体育館・グラウンド・室内で行われる全7種目に分け、各クラスでエントリーを行い、1組から6組のチームで戦います。当日は縦割りでのチーム戦となり、とても充実した時間を過ごすことができました。どの種目でも「リーダーズ会議」のメンバーが中心となり、準備から運営までを全て行い、レク大会終了後は、どのクラスも温かい雰囲気になっていました。



これからも、生徒会執行部や各種委員会が中心となり、生徒全員がお互いを尊重し、認め合い、力を合わせて行事や取組、また毎日の授業に臨む学校づくりを進めていきます。